

インターネットを利用して売上が上がるヒントをお届け！

NEWS LETTER

もうちょい上

80号

2020年1月号

(奇数月発行)

【もうちょい上】は株式会社アイサポートが発行する、木村及び弊社スタッフと名刺交換させていただいた企業の担当者様及び、三条商工会議所に加入されている企業様に無料で定期的にお届けするニュースレターです。

i support 株式会社アイサポート 新潟県三条市須頃1丁目55
TEL 0256-33-5085 FAX 0256-46-0797

<https://www.is1.co.jp/>

豊富な実績はこちらから検索 [アイサポート](#)

2020年もよろしくお祈りします！

あけましておめでとうございます。2020年もよろしくお祈りいたします。

みなさん、昨年はどういう年だったでしょうか。私の印象はセキュリティに対して改めて考えさせられる一年だったと思えました。

振り返ると、大手コンビニ会社のアプリの不正アクセス問題、大手運送会社のウェブサービスへの不正ログイン問題、SNSに投稿された顔写真の瞳に映った景色からの住所特定問題、大手SNS会社からユーザー情報の流出問題などなどです。



ほかに、破棄するはずのハードディスクをヤフオクで売っていた問題、そして県内でもウェブサイトへの不正アクセスから個人情報の流出や、高校生の不正アクセスなどと大企業の問題から中小企業または

個人への問題がふえてきており、決して他人事では済まされなくなってきたと感じています。

ただ、仕事でパソコンの設定状況などを確認すると、もう少し対処しておかないといざとなったときに困った状況になると思うことがありますので、年の初めですので、お知らせしておきたいと思えます。

それぞれのパソコン対策

最近多いのはウィルスが入る経緯はやはりメールが多いのでウィルス対策ソフトの導入は必須です。最近ネットワーク全体を守る機器 (UTM) などでもできていますので、それらを導入する企業も多くなってきています。

ただ、UTMは各社によって機能の重点をおくところがあるので、そこまでのセキュリティは必要なのかなと思うもの

もあります。ちょっと高いかなと思ったら違う会社に相談してみるのもいいかと思えます。

組織としての対策

昨年は目立ったのは内部から不正ログインや内部からの情報漏洩などではないでしょうか。

内部からの対策としては、大きく分けるとうっかりミスを防ぐことと不正を防ぐことになります。

うっかりミスは、マニュアルの徹底や定期的なセキュリティ教育となりますが、継続的な活動となります。

また、うっかりのなかで一番多いと思われるのはメールの誤送信かと個人的には思っています。有効な対策としては、メールの送信ボタンから実際の送信までにタイムラグがあるソフトがいいです。

調べた中では、マイクロソフト アウトルックの場合は、一旦送信トレイに入り、送受信で送信される設定をすることでタイムラグができます。

また、サンダーバードやgmailにもそのような機能があり、送信ボタンを押してから●秒後に送信されます。

また、メールやホームページもセキュリティ対策が必要になってきています。グーグルが数年前にSSLを推奨してきましたが、2020年は非対応のホームページは危険ですという表示の強化や非表示されるという話もできています。

また、メールも同じようにSSL対策できるサーバーが増えています。

■万が一の対策として

セキュリティ保険というものもあります。当社でも入っておりますが、万が一のときの損害賠償金のほか、事故発生の際に適切な対応を行うための費用、訴訟・調停・和解・示談などの対応の費用が保険の範囲のようです。

今一度、チェックいただき、安心して2020年をお過ごしいただきたいと思います。



お電話は **0256-33-5085** 木村まで！